

## 平成29年度 第1回千葉県博物館協議会会議 議事録

日 時：平成29年7月26日（水）10：15～12：10

会 場：千葉県立関宿城博物館 集会室

委員及び館長

鵜沢 登美子

岡本 東三

斎藤 泰嘉

高橋 正

常光 徹

中原 章子

西田 治文

柳谷 昌代

田村美術館長

鎌田中央博物館長

平賀現代産業科学館長

谷鹿関宿城博物館長

永沼房総のむら館長

出席職員 金田現代産業科学館副館長

太田房総のむら副館長

植野学芸振興室長

### 1 開 会

### 2 谷鹿関宿城博物館長あいさつ

- 平成28年度千葉県立美術館・博物館の入館者数 982,197名 6,304名増
- 今年度4～6月の各館の展覧会、イベントの紹介

中央博物館

- ・五七五で自然を切り取る ―生態園を子どもの目で詠むと―
- ・北総四都市江戸巡り

美術館

- ・春のアート・コレクション

「金子周次版画展」「みずゑの魅力」

現代産業科学館

- ・房総のむら移動展示「炭と暮らす」
- ・収蔵資料展「カメラ」
- ・スバル360の展示

関宿城博物館

- ・コーナー展よみがえる関宿城
- ・昔のくらし展

房総のむら

- ・さくらまつり
- ・春のまつり

◎各館の大きな展覧会

- ・企画展「うなぎとサケー海とかかわる不思議なさかなー」（中央博物館 大利根分館）
- ・千葉文化発信事業 特別展「立体造型の現在・過去・未来 The フィギュア in ちば（美術館）
- ・企画展「子どもも楽しい きのこワンダーランド」1期（中央博物館）

◎関宿城博物館の紹介

- ・現在は、パネル展「カスリーン台風から70年」
- ・10月3日～12月3日は、企画展「鰯は弱いが役にたつ 一肥料の王様 干鰯」

昨年度から、この協議会では各館が直面している問題などについて意見をいただいている。本年度も各館が抱える問題点について意見をいただきたい。本日は、当館の課題、「観光資源と博物館 ～周辺の地理的・歴史的環境をどう活用するか～」である。忌憚のない意見をいただきたい。

### 3 協議事項

議長：関宿城博物館から取り組みの解説をお願いしたい

関宿城博物館：解説

委員：関宿城博物館での観光資源の活用の努力が見られる。

ある大臣が「学芸員はガンで、観光など考えていない」発言があったが、学芸員の使命は、文化財の保護と次世代への継承（資料の収

集と保存) であるため、観光に向けてのスタッフを取り入れないと難しい。

外国人観光客に向け、ボランティアやWi-Fiを備えるのが必須。千葉県立館でのWi-Fiの設置状況は？

房総のむら：当館は成田が近いので、Wi-Fiの整備がある。今後徐々に他館も行うものと聞いている。

委員：市民のボランティアの取り入れやインターネットの整備とともに、外国人は何を必要としているか。関宿に外国人は何を求めているかを調べてはどうか。

委員：館外の活動が盛んであるが、参加者はどのくらいか。

関宿城博物館：募集人数に対しては、平均60%ほど。人気があるものは満員になるものもある。

委員：歩くのが好きな人が多いので、行きはバスで帰りは歩いてもらうとか、仕組みを考えるとよいのではないか。

水運は今の時代、地味なので、どのようにつないでいったら良いかを考えると良い。

水運つながりで他館とのつながりはあるのか。

関宿城博物館：野田郷土博物館・流山市立博物館との3館連携の展覧会等を行っている。

委員：3県の交わっているこの地でのつながりはどうか。

関宿城博物館：県外には川のまちネットワークを活用して当館を紹介していきたい。今年度は、野田市観光課がドローンを使い、空から撮影をすることになっている。また、インターネットを通して関宿の歴史を野田市や川のまちネットワークでも紹介している。

委員：鉄道会社との企画はないか。

関宿城博物館：東武鉄道に話を持ち込んだが、駅から遠いと言うことで進展しなかった。JR東日本のイベント「ちば産直市」に参加。PRに努めている。

委員：この博物館は、欧米人が興味を持つのではないかと思われるが、YouTubeで外国人向けの情報は流していないか。

関宿城博物館：一般の方がドローンで空から撮影したものが現在流れている。また、関宿に伝わる昔の民謡なども流している。

委員：2年前お伺いしたときにクルーズの奨めをしたが、今回サイクリングの話聞いたため、都内からサイクリングでここに来て、クルーズでここから佐原まで行って帰ってくる（船内で、飲食もとる）などどうか。もしくは、成田に着いたら荷物を東京に送り、佐原から船で関宿へ。というのはどうか。利根川沿いの大利根分館は自然誌系の博物館に特化し、文化系の利根川図誌などは関宿にもつてくるとかも考えられる。11月3日4日中央博の自然誌フェスタを各館に広げたらどうか。

委員：遠くてもPRすれば入館者は増える。テレビ、インターネットなどを活用できないか。館まで来るバスが少ないので話し合いでコミュニティバスを出してはどうか。少ない職員数で行うのは厳しいので、ボランティアの導入も考えると良い。

委員：交通の不便をととても感じた。千葉市から来館するよりも、つくば市方面の方が来館しやすいと思った。ただ、ここは、観光資源はあると感じた。フィールドワークも参加してみたい。歴史や水害なども興味を持った。ブラタモリなどに売り込んでみてはどうか。サイクリングと船のコラボもいい。圏央道の開通により成田空港ともつながったと言うことで、外国人にも来やすくなった。学校向けの行事はあるか。

関宿城博物館：せきはく調査隊がある。館内の常設展についている子ども向け解説を利用したワークシートである。小学3年生の利用が多い。

委員：周りの風景とお城がマッチしていて大変きれい、また、博物館として立派なつくりで、入口から歴史の世界に入れてすばらしい。ただし、関宿城博物館だけでは厳しいので、県内で日本遺産になった成田・佐倉・佐原・銚子の4都市のように、観光にも歴史などを使ったストーリー展開を行い、色々と結びつけてはどうか。これからオリンピック・パラリンピックもあるが、日本に来る外国人は初めてではない人も多い。例えば、中国からの観光客なども少し前のバク買いから文化に触れる方向になっている。メインでなく、初心者向けでないところを歩きたい人が増えている。それに向けて、県と野田市と旅行会社が一体となり、成田と東京を結ぶもう一つの観光ル

ートとして、キッコーマンなどのブランド企業やお寺などと組み合わせるプランを練ってはどうか。なるべくシルバー世代向けに安いとよい。

副議長：関宿を注目してもらうために、日常の地味な積み重ねとともに、話題性を作ることが大切。例えば、将棋大会が中学生の藤井聡太さんの活躍で話題になったように、災害が続いている今を考えると、現在のカスリーン台風展は非常にタイムリー。ただし、不便な足をどう確保するかが問題。車窓から来館途中、サルスベリを見たが、博物館までの間にサルスベリを植えて、そのロードを抜けて入館とかも面白い。

議長：金も人材もない中で、観光に特化して作りあげる。各種のものを組み立ててみればどうか。スーパー堤防は国交省だから、国交省を巻き込んでのプランは作れないか。江戸川の分岐点を見られる場所は他にないので。

委員：サイクリングの終点なので、売店脇に簡易シャワー施設とかはどうか。

委員：はとバスにツアーの企画を依頼しても良いと思う。例えば、国立歴史博物館と菖蒲見学とお食事の旅などの企画があるので。

#### 4 諸連絡 次回案内等

#### 5 閉会